

科目名	生活と福祉	単位数	2 単位	学科・学年	生活総合科 2年 A 専門コース																																																						
使用教科書	生活と福祉 (実教出版株式会社)		副教材等																																																								
学習目標	<p>皆さんは将来、家族の看護という場面に直面するかも知れません。そこで、この「生活と福祉」という授業において、次のようなことを皆さんに学習してもらいたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の健康管理や自立生活支援に関する知識と技術を学習します。 2 高齢者の自己決定に基づく自立生活支援、家族や高齢者の健康管理が基本であることを習します。 3 家庭看護や高齢者介護の充実を図る能力と態度を育てます。 																																																										
学習評価	<p>○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td colspan="5">授業に積極的に取り組み、発表・課題提出などが積極的にできるかどうかをみます。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td> <td colspan="5">家庭看護の基本は、家族や高齢者の日々の健康管理であるという、とらえ方をしているかどうかをみます。日々の家庭における看護活動の中で直面する様々な問題点を、介護者としての的確に解決できるかどうかをみます。</td> </tr> <tr> <td>③技能</td> <td colspan="5">家庭における様々な看護や、様々な疾患に対応した食事の調理、日常生活の中での介助など、基本的な知識や技術が身についたかどうかをみます。また、介護をされる側の身体面や精神面などの特徴を理解した上で、介護ができていくかどうかをみます。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td colspan="5">家庭における看護や介護において必要な知識を吸収し、実生活で問題を解決できるだけの理解が得られているかどうかをみます。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況観察</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>自己評価の実施</td> </tr> <tr> <td>課題レポート</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>課題ごとに提出</td> </tr> <tr> <td>ノート提出</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>学期に1回提出</td> </tr> <tr> <td>ペーパーテスト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>中間・期末試験</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <p>○ 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標到達に努めましょう。</p>					①関心・意欲・態度	授業に積極的に取り組み、発表・課題提出などが積極的にできるかどうかをみます。					②思考・判断・表現	家庭看護の基本は、家族や高齢者の日々の健康管理であるという、とらえ方をしているかどうかをみます。日々の家庭における看護活動の中で直面する様々な問題点を、介護者としての的確に解決できるかどうかをみます。					③技能	家庭における様々な看護や、様々な疾患に対応した食事の調理、日常生活の中での介助など、基本的な知識や技術が身についたかどうかをみます。また、介護をされる側の身体面や精神面などの特徴を理解した上で、介護ができていくかどうかをみます。					④知識・理解	家庭における看護や介護において必要な知識を吸収し、実生活で問題を解決できるだけの理解が得られているかどうかをみます。					評価方法\観点	①	②	③	④		学習状況観察	◎	—	—	—	自己評価の実施	課題レポート	◎	◎	◎	◎	課題ごとに提出	ノート提出	○	◎	○	○	学期に1回提出	ペーパーテスト	—	—	◎	◎	中間・期末試験
①関心・意欲・態度	授業に積極的に取り組み、発表・課題提出などが積極的にできるかどうかをみます。																																																										
②思考・判断・表現	家庭看護の基本は、家族や高齢者の日々の健康管理であるという、とらえ方をしているかどうかをみます。日々の家庭における看護活動の中で直面する様々な問題点を、介護者としての的確に解決できるかどうかをみます。																																																										
③技能	家庭における様々な看護や、様々な疾患に対応した食事の調理、日常生活の中での介助など、基本的な知識や技術が身についたかどうかをみます。また、介護をされる側の身体面や精神面などの特徴を理解した上で、介護ができていくかどうかをみます。																																																										
④知識・理解	家庭における看護や介護において必要な知識を吸収し、実生活で問題を解決できるだけの理解が得られているかどうかをみます。																																																										
評価方法\観点	①	②	③	④																																																							
学習状況観察	◎	—	—	—	自己評価の実施																																																						
課題レポート	◎	◎	◎	◎	課題ごとに提出																																																						
ノート提出	○	◎	○	○	学期に1回提出																																																						
ペーパーテスト	—	—	◎	◎	中間・期末試験																																																						
履修上の注意	<p>○生活と福祉は、Aコースの皆さんが学習します。</p> <p>○授業では毎時間板書内容をノート、または課題レポートに書き写してもらいます。ノートあるいはルーズリーフを準備しておいて下さい。ルーズリーフの場合はバインダーやクリップなどできちんと止めましょう。</p> <p>○授業では毎時間教科書の重要な部分にマークしてもらいます。教科書や色ペン、さしなども準備しておいて下さい。</p> <p>○ノート（ルーズリーフ）や課題レポートは必ず提出してもらいます。</p> <p>欠席した場合には、その授業の内容を次の授業までに書き写すようにして下さい。</p> <p>○トイレは休み時間にすませておきましょう。</p> <p>チャイムが鳴ったら席に着き、授業に必要な教科書・ノート・筆記道具を机の上に準備し、授業に臨みます。</p>																																																										

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動（評価方法）
第1学期	4	第1章 人の一生と生活・健康			
		1. 健康の概念	2	○健康の概念について学びます。環境や対人関係など様々な影響を受けることを理解します。	○外部講師を招く。（看護・介護の違い） ○時事問題の中より家族の健康や高齢者福祉に関する記事をスクラップします。
		①健康とは			
		②高齢社会における健康とQOL		○高齢者の病気の特徴や事故の予防方法について学びます。	○様々な健康専門職の仕事内容を学んでいく中で、自分自身の進路も考えます。
		③健康に影響を及ぼす要因			○様々な定期健康診断の内容について調べます。（自己評価）
		2. ライフステージと健康管理	2	○ライフステージごとの健康管理の必要性とその方法について学びます。	（学習状況観察） （課題レポート提出） （ノート提出） （1学期中間考査）
		①ライフステージと健康			
		②生活習慣と健康			
	5	第2章 高齢化の現状と高齢者の特徴	4	○生活習慣病の症状や原因、身体異常の早期発見方法などを学びます。	
		1. 高齢化の現状			
	①人口の高齢化	1	○高齢者の心身の特徴を学びます。		
	②家族・地域の変化				
	2. 高齢者の心身の特徴と病気	1	○高齢者の病気の特徴や事故の予防方法について学びます。		
	①高齢者の心身の特徴				
	②高齢者の病気	1			
	(1学期中間考査)	1			
	3. 高齢者の生活課題と施策	3	○人口の高齢化の背景を学びます。	○高齢者に関するスクラップ記事を基に高齢者を取り巻く家族・地域社会の在り方を考えます。	
	①高齢者の生活課題				
	②高齢者に対する施策				
	第3章 高齢者の自立生活支援				
	1. 自立生活支援の基本となる考え方				
	①尊厳・ノーマライゼーション				
	②自立生活支援の意義				
	③地域包括ケアシステムをめざした地域役割			○福祉大国の国民の意識の高さや制度について学び、我が国の高齢者福祉の進むべき道を考えます。 ○近隣市町村の高齢者サービスについてまとめます	

	7	2. 高齢者の介護 ①高齢者介護の考え方 ②麻痺・視聴覚障害・認知症の介護	3	○高齢者福祉のあゆみと現状について学びます。 ○高齢者福祉に関する様々なサービスについて学びます。 ○様々な国の高齢者福祉について学び、我が国の高齢者福祉の進むべき道を考えます。	○自己評価 (学習状況観察) (課題レポート提出) (ノート提出) (1学年末考査)
		第4章 高齢者支援の法律と制度	9		
		1. 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ ①社会保障・社会福祉制度のしくみ ②高齢者福祉のあゆみ			
		2. 介護保険制度 ①介護保険制度スタートガイド	1		
第2学期	9	②介護保険制度のしくみ			○高齢者の疑似体験をします。
	3. 高齢者支援と地域包括ケアシステム ①地域包括ケアシステム ②高齢者支援を支える制度と課題	2			
		1			

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動(評価方法)
第2学期	9	第5章 介護・看護の実習と生活支援	6	○高齢者介護の基本として、自立生活支援の考え方を学びます。○1人の介護者に負担がかからないような介護について学びます。 ○様々な障害の特徴と、介護の方法について学びます。 ○生活リハビリテーションについて学びます。 ○高齢者を自宅で介護するための望ましい住空間について学びます。 ○高齢者の身体的特徴に応じた衣服について	○高齢者の生活や心身の特徴、介護などに関する様々なVTRを視聴し学び考えます。 ○高齢者を自宅で介護するための住空間の整備について、カタログやVTR視聴、住宅展示場見学などを通して学びます。 ○ユニバーサルデザインの生活用品を探します。 (自己評価) (学習状況観察) (課題レポート提出) (ノート提出) (2学期中間考査)
	10	1. 介護の実習 ①体位変換 ②ベット上の体位変換 ③歩行介助 ④車いすの移乗・移動の介護 ⑤食事の介護 ⑥ベッドメイキング ⑦衣服の着脱の介護 ⑧身体の清潔の介護	18		
		(2学期中間考査)	1		
	11	⑨排泄の介護			
第2学期	12	2. 看護の実習 ①家庭看護の意味 ②バイタルサイン(生命徴候)の味方 ③口腔の清潔		○家庭看護の基本技術を学び、看護される側・看護する側それぞれの立場を理解します。 ○家庭における応急処置方法を学びます。 ○家庭に常備したい薬や看護用品の種類と使用方法について学びます。	○体温・脈拍・呼吸・血圧の測定をします。○けが人や病人を運搬します。 ○食中毒・やけど・骨折の応急手当をします。 ○包帯や三角巾で患部を保護します。 (自己評価) (学習状況観察) (課題レポート提出) (ノート提出) (2学期末考査)
		(2学期末考査)	1		
	1	④誤嚥と窒息 ⑤転倒と骨折 ⑥低温やけど(低温熱傷) ⑦脱水 ⑧熱中症	4		
第3学期	2	⑨高血圧と低血圧 ⑩糖尿病	4	○高齢者介護の基本として、自立生活支援の考え方を学びます。 ○1人の介護者に負担がかからないような介護について学びます。 ○様々な障害の特徴と、介護の方法について学びます。	○高齢者を自宅で介護するための住空間の整備について、カタログやVTR視聴、住宅展示場見学などを通して学びます。 ○ユニバーサルデザインの生活用品を探します。 (自己評価) (学習状況観察) (課題レポート提出) (ノート提出) (学年末考査)
	3. 生活支援 ①生活支援の考え方 ②「衣」の生活支援 ③「食」の生活支援 ④「住」の生活支援 ⑤高齢者の販売取引トラブル	2			
		1			
	3	(学年末考査)	1		